

活動は花壇の管理受託から イベントのディスプレイまで幅広く

——具体的な活動内容は？

花壇の管理受託事業として、ひまわりの丘公園をはじめ、市内公共花壇の植栽デザイン、エクラ周辺の花壇の管理、また、マックスバリュ王子店の入り口花壇の管理をしています。そして、年2回の花の植え替えとして、JR粟生駅前花壇や、遠くは神戸市内の老人施設の花壇の植え替えをしています。

随時要望があれば、各種イベント会場のディスプレイも行います。昨年は4月に全国市議会正・副議長会。今年は7月にエクラホールでのピアノマラソン、8月には小野まつりののど自慢大会で飾る舞台花を準備しました。またこういった活動に用いる花苗の育種・育苗事業も行っています。

そして、ハーブの良さを伝えるため、毎月2回、ゆびかで花と緑による講習会セミナーを行っています。月ごとにテーマを決め、毎回30〜40名の方に受講していただいています。

こうした取り組みに併せて、小野市の美しいまちづくりプロジェクトにも参画しています。食材を育て、収穫し、食するという楽しみを学んでもらうという展開を、ハーブを使って行っています。

——新たに活動内容を増やされたところがありますか？

その他の事業として、今年度から花苗やハーブ商品の物販販売の活動を始めようと考えています。小野市が購入したハーブオイルの抽出機を使って昨年に製品化し、テスト販

売したローズマリーオイルのエコ石けんが大変好評だったので、今年も作る予定です。抽出機で純正のオイルを作るのは専門的な作業なのですが、メンバーで交代しながら作業をします。芳香剤など、石けん以外のものも作れないかとあれこれ考えることも楽しいですね。あと、花やハーブの苗を育ててイベント会場などで販売することも考えています。みんなが楽しみながら活動の巾が広がっていくことで、夢も膨らみます。

ボランティア団体から NPO法人へ

——法人格を取得しようとしたきっかけは？

これまでに自分たちの住むまちを自分たちの手で、環境にも配慮した花と緑があふれる美しいまちにしようと、小野市のフラワーマイスターやエクラのガーデニングボランティアとして活動してきました。こういった活動を継続し発展させていくためには、社会的な信用を得ながら組織として体制を確立することが必要不可欠だと考え、法人格取得を決意しました。法人化することで、より多くの人と関わり、大きく地域社会に貢献できるのではないかと、思いもきつかけのひとつです。

——法人格を取得する前と後とで変わったことは？

行政と住民の中間の立場としての団体となったことで、行政だけではできないこと、一個人やボランティアとしてではできないことができるようになりまし。やりたいと思ったことを、自分たちで企画立案でできるよう

花と緑を愛しみ育む 人々の輪を広げ、 「色と香りのまちづくり」 を目指す

プロフィール

藤本 さよ子 (ふじもと さよこ)

小野市役所を退職後、2002年からひまわりの丘公園などの花壇を管理するガーデニングボランティアに登録。花壇デザインや植栽に取り組んできた。活動を県内に広げようと、2011年、「特定非営利活動法人ひょうごグリーンスタッフ」を設立し、代表となる。

聞く Vol.18

シリーズ
listen to....

NPO法人 ひょうごグリーンスタッフ

ふじもと
理事長 藤本 さよ子 さん



▶「白雲谷温泉ゆびか」で
ハーブの寄せ植え講習会を開催



◀丁寧な指導が好評で、
毎回多数の参加をいただいています。

部分があります。

自分の楽しみが周りの楽しみに

——活動をしていて良かったと思うことは？

自分の楽しみが、周りの方々にも楽しんでもいただけることになるのが、活動のモチベーションにもなっています。他のまちから来られた方が「小野市は花や緑がきれいですね」と言ってくださると本当に嬉しいですし、花壇がきれいだと不思議とその周りも自然ときれいになるんです。

また、イベント会場でのディスプレイに使う木や花は、購入するのは必要最

小限にとどめ、メンバー内で調達できるようにしているのですが、見知らぬお宅の庭に咲いているものを、事情をお話して戴いたりもするんです。お花が好きで育てていらっしゃる方ばかりですので、自分の庭のお花が、イベント会場などでたくさんの方々の目に触れ楽しんでいただけるといいことをとても喜んでくださって、「どうぞどうぞ！」と提供していただけるんです。そんな風に、人のネットワークが広がることも、この活動をしていて良かったと思うことです。

——メンバー構成は？

現在35名のメンバーがいます。時間に自由がきき、いつでも活動に参加できるというのは半数くらいですが、やはり現役の仕事から引退した高齢者がほとんどです。男性の方もいらっしゃいますよ。ほとんどのメンバーが、当法人

地域にこだわらず、自分たちが活動できる場を求めて

——今後の活動への目標や夢、アピールしたいことなどは？

小野市内や兵庫県内外を問わず、活動できる場があれば出ていきたい気持ちがあります。2010年に小野市で開催された全国ハーブサミットの時はボランティアとして参加しましたが、毎年全国各地で開催される大会なので、機会があればNPOとしてできることを探して参加できればと思っています。



▶第35回小野まつりの
のど自慢大会での舞台花

NPO法人 ひょうごグリーンスタッフって？

地域の人々と協働し、花と緑を通して「色と香りのまちづくり」を目指し活動している団体。おのガーデニングボランティアと連携し、小野市内施設の花壇のデザインや植栽・管理をはじめ、植栽指導、花・ハーブの講習会の開催、会場のフラワーディスプレイ等をおこなっている。